

2013 年 2 月の東北地方の天候

【 2 月の特徴 】

○気温は低かった

○東北日本海側で記録的な積雪となった

(1) 2013 年 2 月の概況

この期間、冬型の気圧配置となることが多く、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多かった。月の後半を中心に寒気に覆われたため、気温は低くなり、東北日本海側では大雪となる日が多く、青森県酸ヶ湯で積雪の深さが 566cm となるなど、アメダスの 9 地点で年最深積雪の大きい方からの 1 位の値を記録し、記録的な積雪となった。

月平均気温は低い。月降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ない。月間日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。月降雪量平年比は東北日本海側で 111%と平年並、東北太平洋側で 75%と少ない。

(2) 各旬の天候経過

上旬：この期間、低気圧や前線、気圧の谷が次々と通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側の天気は短い周期で変わった。気温は平年並だったが、期間のはじめは暖気の影響で高く、期間の終わりは寒気の影響で低くなった。

7 日は低気圧の影響で秋田県、岩手県、山形県で、8 日と 10 日は冬型の気圧配置の影響で東北日本海側を中心に大雪となり、10 日は山形県で日降雪量 50cm 以上の所があった。

平均気温は平年並。降水量は平年並。日照時間は平年並。

中旬：この期間、高気圧と低気圧が交互に短い周期で通過し、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となった。東北地方では曇りや雪の日が多かった。期間のはじめと後半に寒気の影響を受けたため、気温は低くなった。本州の南岸を東に進んだ低気圧の影響を受けた日がたびたびあり、日照時間はかなり少なかった。

11 日、15 日から 16 日にかけて、19 日から 20 日にかけては冬型の気圧配置の影響で東北日本海側で大雪となり、16 日は青森県で日降雪量 50cm 以上の所があった。

平均気温は低い。降水量は平年並。日照時間はかなり少ない。

下旬：期間の中頃までは冬型の気圧配置が続き、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多かったが、時々雪の日もあった。期間の終わりは高気圧に覆われて晴れた。寒気に覆われたため、気温はかなり低くなった。

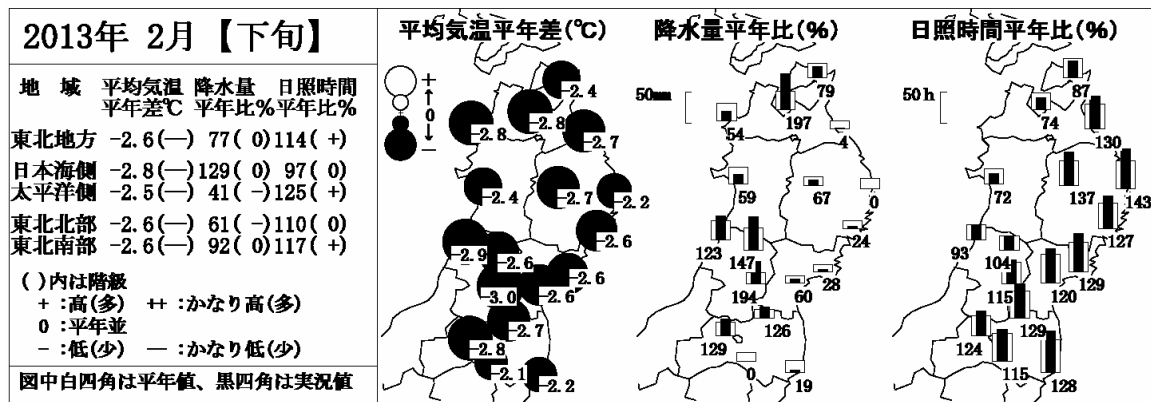
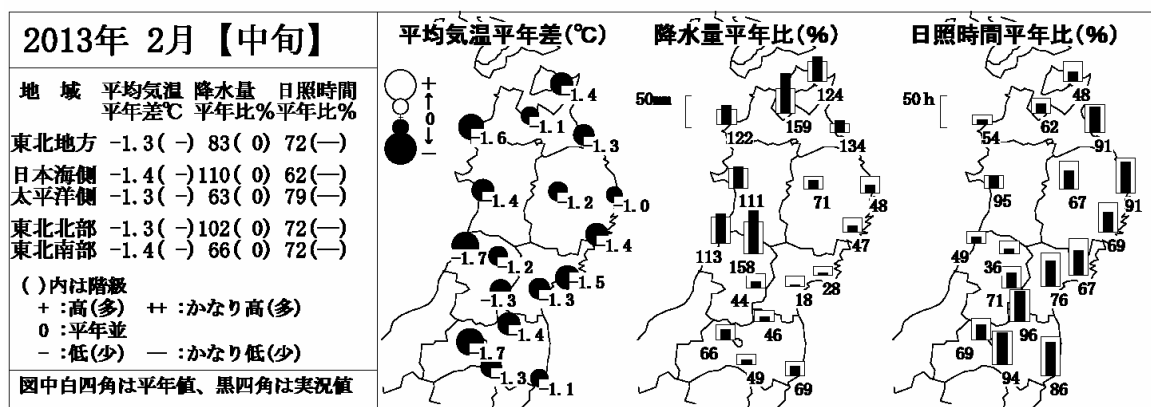
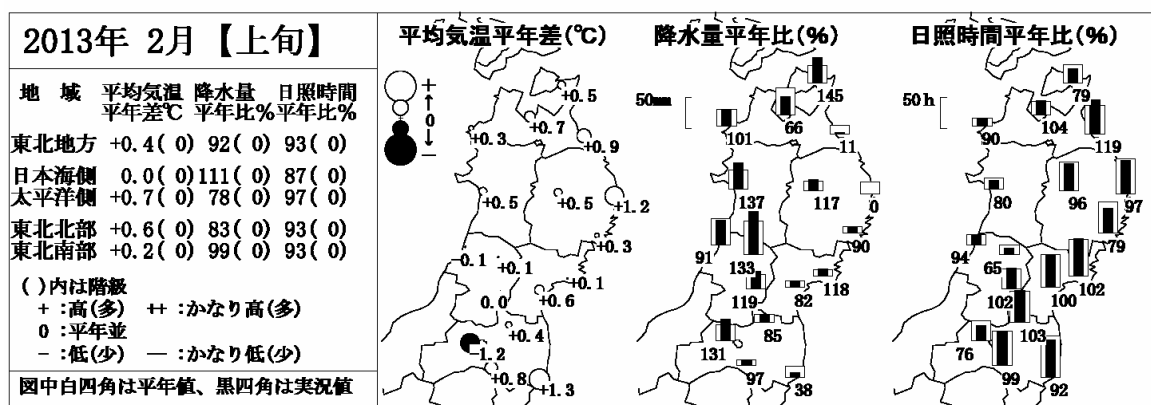
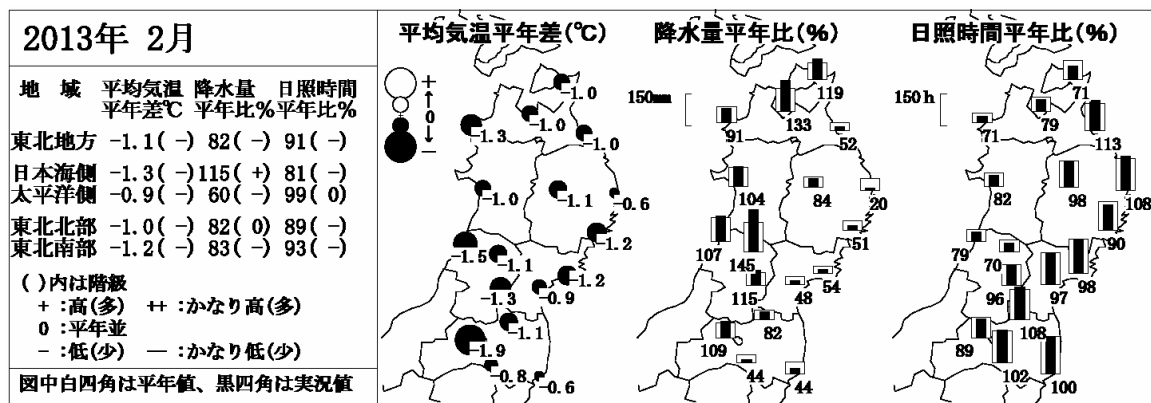
21 日から 25 日にかけては冬型の気圧配置の影響で東北日本海側を中心に大雪となった所があった。特に 24 日は福島県で日降雪量 50cm 以上の所があり、東北太平洋側でも大雪となった。

平均気温はかなり低い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。

(注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の気象台、特別地域気象観測所の観測値より求めています(速報値)。
細分地域については 2 ページ目脚注を参照して下さい。気温の高い・低い、降水量、日照時間、降雪の深さ合計の多い・少ないは、特にことわらない限り平年と比較した階級を表します。平年値の統計期間は 1981～2010 年です。階級区分については、3 ページ目脚注 2 を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2013年2月の月・旬平均気温の平年差、降水量・日照時間の平年比



平年値の統計期間は1981～2010年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2013 年 2 月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級			降雪深さ(平年値)階級		最深積雪(平年値)階級	
	(℃)	(℃)		(mm)	(%)			(h)	(%)		(cm)	(cm)	(cm)	(cm)
青 森	-1.7	(-1.0)	—	147.5	(133)	+	20	55.4	(79)	—	220	(176)	+	142 (107) +
深 浦	-1.2	(-1.3)	—	71.0	(91)	○	19	33.0	(71)	—	147	(92)	+	71 (41) +
む つ	-2.2	(-1.0)	—	98.5	(119)	○	18	64.5	(71)	—*	153	(143)	○	77 (62) +
八 戸	-1.5	(-1.0)	—	21.0	(52)	—	5	146.3	(113)	+	59	(75)	—	31 (21) +
秋 田	-0.5	(-1.0)	—	92.5	(104)	○	17	51.3	(82)	○	89	(108)	○	67 (32) +*
盛 岡	-2.3	(-1.1)	—	41.0	(84)	○	9	125.5	(98)	○	64	(74)	○	39 (35) ○
大 船 渡	-0.1	(-1.2)	—	23.0	(51)	○	6	122.7	(90)	—	9	(23)	—	8 (9) ○
宮 古	-0.2	(-0.6)	—	12.0	(20)	—*	1	165.4	(108)	○	14	(55)	—	11 (26) —
仙 台	1.1	(-0.9)	—	18.5	(48)	—	7	147.7	(97)	○	22	(23)	○	7 (11) ○
石 巻	0.0	(-1.2)	—	19.0	(54)	—	6	159.5	(98)	○	16	(20)	○	8 (12) ○
山 形	-1.2	(-1.3)	—	72.0	(115)	○	14	95.1	(96)	○	124	(125)	○	72 (45) +*
新 庄	-1.8	(-1.1)	—	202.0	(145)	+*	24	40.3	(70)	—	239	(217)	+	208 (120) +*
酒 田	0.4	(-1.5)	—	122.5	(107)	○	21	46.6	(79)	—	98	(98)	○	32 (26) +
福 島	1.1	(-1.1)	—	36.5	(82)	○	8	154.3	(108)	+	52	(57)	○	18 (17) ○
若 松	-2.0	(-1.9)	—*	77.5	(109)	○	14	88.4	(89)	—	143	(142)	○	86 (48) +*
白 河	0.0	(-0.8)	—	17.0	(44)	—	4	155.0	(102)	○	35	(47)	○	13 (15) ○
小 名 浜	3.4	(-0.6)	—	25.5	(44)	—	6	178.4	(100)	○	()	()		()

(注) 1. 平年値は1981～2010年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1981～2010年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には

かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

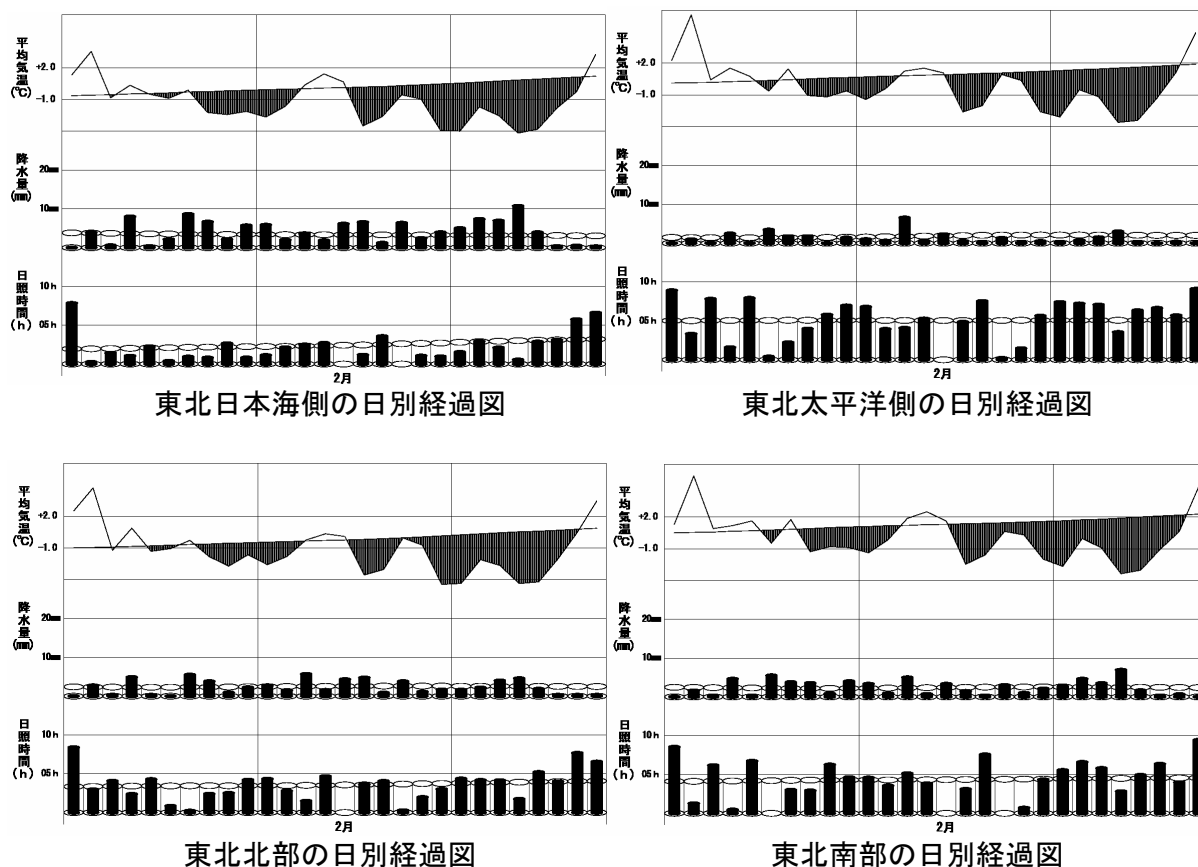
と表現できる。

また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

3. 値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。) 付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが、]付きの値(資料不足値)については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(5) 2013 年 2 月の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）
気温の陰影は平年値より低いことを示す。

(6) 2013 年 2 月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

3 位以内はなし

月平均気温低い方からの順位更新

3 位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新

3 位以内はなし

月降水量少ない方からの順位更新

3 位以内はなし

月間日照時間多い方からの順位更新

3 位以内はなし

月間日照時間少ない方からの順位更新

3 位以内はなし

降雪の深さ月合計値多い方からの順位更新

順位	地点名	降雪の深さ月合計 cm	これまでの最大 cm (西暦年)	開始年	平年値 cm
3	深浦	147	165 (1964)	1953	92

月最深積雪大きい方からの順位更新

順位	地点名	最深積雪 cm	起 日	これまでの最深 cm (西暦年)	開始年	平年値 cm
3	新庄	208	26	236 (1974)	1958	120

(参考) アメダスの月最深積雪大きい方からの順位更新 (3 位以内)

県	順位	地点名	最深積雪 cm	起日	これまでの最深 cm (西暦年)	開始年	平年値 cm
青森県	1	弘前	153	25	145 (2005)	1983	81
		酸ヶ湯	566	26	496 (2012)	1980	///
		碓ヶ関	130	25	128] (2005)	1980	84
	2	大間	52	24	75 (2012)	1984	23
		野辺地	68	23	102 (2012)	2009	///
	3	十和田	65	24	86 (1984)	1984	48
秋田県	1	鷹巣	130	25	123 (2006)	1980	73
		五城目	119	25	112 (2006)	1980	48
		阿仁合	188	25	179 (2006)	1980	115
	2	鹿角	100	24	102 (2011)	1980	64
		角館	164	26	169 (1986)	1980	97
		大正寺	123	24	152] (1986)	1980	69
		湯の岱	196	25	200 (2011)	1980	130
	3	横手	175	26	192 (2011)	1980	106
		湯沢	140	26	175 (2011)	1986	86
岩手県	1	湯田	279	25	236 (2005)	1980	173
	2	雫石	102]	8	113 (2006)	1984	62
	3	北上	53	24	68 (2011)	1985	31
山形県	1	金山	224	23	202 (2011)	1983	123
		肘折	414=	25	414 (2005)	1983	312
		尾花沢	241	25	238 (2012)	1980	134
	2	大井沢	339	25	344 (2000)	1980	247
	3	向町	204	21	212 (2011)	1984	126
福島県	1	金山	223=	25	223 (2011)	2008	///
		只見	341	25	332 (1991)	1980	223
	2	西会津	157	24	213] (1981)	1981	90

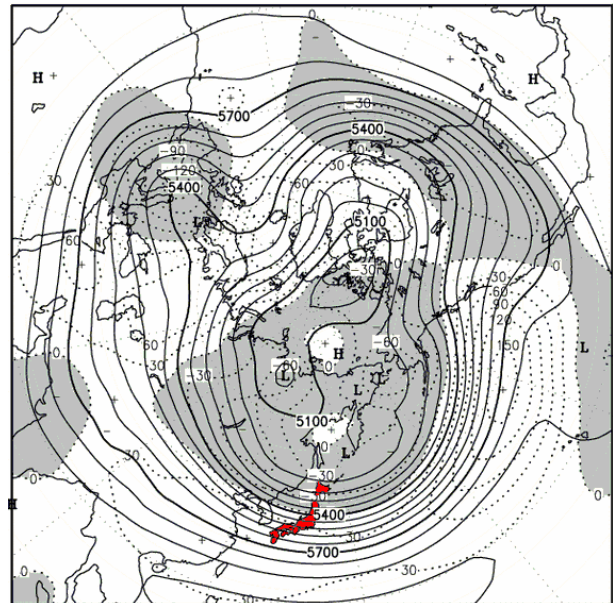
(注) 値の横に] がある場合には、使用したデータに欠測等が含まれていることを示す。平年値の///は統計期間が短いため平年値がないことを示す。順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

なお、弘前(青森県)、酸ヶ湯(青森県)、阿仁合(秋田県)、湯田(岩手県)、金山(山形県)、肘折(山形県)、尾花沢(山形県)、金山(福島県)、只見(福島県)は年最深積雪の大きい方からの1位となっています。

(7) 2013 年 2 月の循環場の特徴

500hPa 高度は、北日本は極渦の一部から連なる負偏差に覆われた。

東北地方は寒気の影響を受けやすく、気温が低くなった。



2013 年 2 月の平均 500hPa 高度

実線は高度(m)、間隔 60m。点線は偏差(m)、間隔 30m。陰影部は負偏差 (寒気に対応)。